

(JALOBからの投稿)

7月16日「さよなら原発10万人集会」は「お金より命を！」

の熱いエネルギーに満ちあふれていました。



「さよなら原発10万人集会」瀬戸内寂聴さん、大江健三朗さん、坂本龍一さんら9名が7月16日に代々木公園を埋め尽くそうと呼びかけていました。

退職しても若いつもりでいましたが、蒸し暑く過ごしにくい天候が続き、ひと夏を乗り切れるか年齢を感じるこの頃です。

福島原発の事故による放射能汚染は、外部被爆・内部被爆で、ひと夏どころか子どもたちの未来を脅かしています。

原発推進派の圧力を受けた政府が大飯原発の再稼働を強行したことも許せません。思い切って、集会に参加しました。

原宿駅ホームに降り立つと、集まってくる人の波で埋め尽くされ、容易に改札口にたどり着けないほどです。会場に向かう人、人、人・・・の群れで「原発NO！」の熱気を感じます。

会場周辺では、家族、子どもづれ、若い女性たち様々な参加者が手作りの「メッセージ」を掲げて意思表示し、あっちこっちでハンドマイクで原発反対のおもいを訴えるグループもいます。

メイン会場は埋め尽くされ入れる状況ではありません、公園際の路上でスピーカーから流れてくる呼びかけ人のスピーチを聞くことができました。

次々と呼びかけ人が訴える中、17万人が参加していると発表がありました。

坂本龍一さん

「電気のために子どもの命を危険にさらすことはすべきではありません、お金より命です」

瀬戸内寂聴さん

「90才になります、過去の人たちが苦勞して自由を守ったから今日があります、原発をとめるまで、めげないでがんばりましょう」

大江健三朗さん

「原発再稼働は私たちに対する侮辱です、政府のもくろみを打ち倒しましょう」

メイン会場から周辺道路まであふれた参加者の「なくせ原発」の強い意思が、強い鎖のようにしっかりとつながれているように感じられました。